

出雲市トキによるまちづくり

第2回トキと共生する里地づくりネットワーク協議会
令和5年（2023）10月23日 石川県

1. 出雲市の概要①



位置及び地勢

島根県の東部に位置し、北部は島根半島、中央部は出雲平野、南部は中国山地で構成されています。出雲平野は、中国山地に源を発する斐伊川と神戸川の二大河川により形成された沖積平野で、斐伊川は平野の中央部を東進して宍道湖に注ぎ、神戸川は西進して日本海に注いでいます。

面積

624.32 km²

人口

172,841人

(令和5年8月末現在)

令和2年国勢調査では、前回調査の平成27年と比較して837人増加

市の木・花

黒松・菊



1. 出雲市の概要②

出雲市は島根県最大の・・・

観光地域

出雲大社や出雲日御碕灯台など多くの人々が訪れる観光スポットがあり、年間1,000万人を超える観光客が訪れます。



農業地域

農業は市の基幹産業であり、農業産出額は県内1位で、米が約半数を占めています。令和2年の農林業センサスでは農業就業人口が増加に転じました。



工業地域

製造品出荷額は県全体の約半数を占め、県内有数の工業地域です。また、多種多様な企業集積を図るため、IT人材の育成にも取り組んでいます。



1. 出雲市の概要③

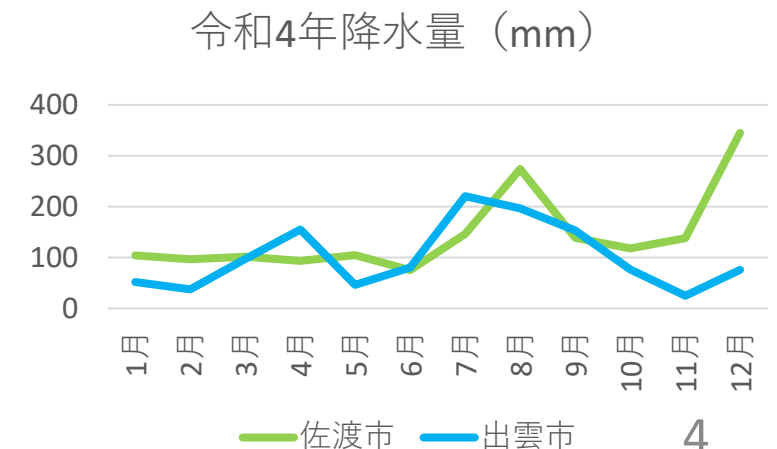
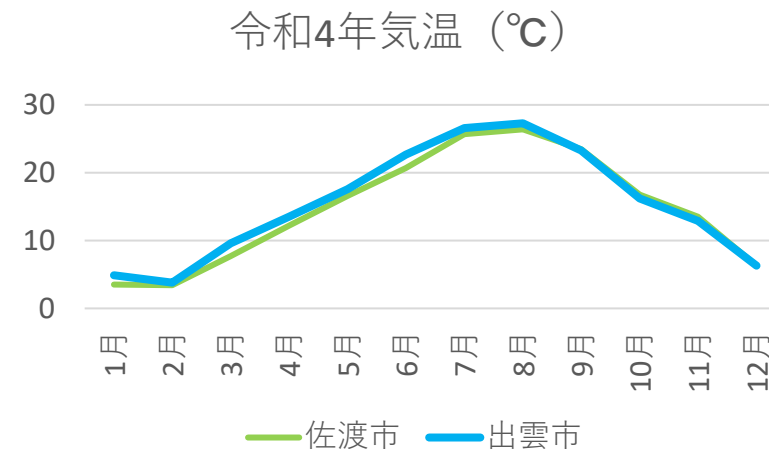
佐渡市との比較



【土地利用】

項目	佐渡市		出雲市	
面積	855.68km ²	100.0%	624.32km ²	100.0%
田	100.59km ²	11.8%	75.53km ²	12.1%
畑	26.83km ²	3.1%	25.65km ²	4.1%
宅地	21.28km ²	2.5%	39.92km ²	6.4%
その他	706.98km ²	82.6%	483.22km ²	77.4%

【気象状況】



2. 取組方針①

計画上の位置付け



出雲市総合振興計画 「出雲神話2030」

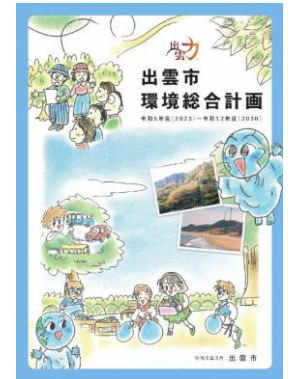
トキが飛び交う 「美しい」出雲を

出雲の自然を舞台に、トキの野生復帰をめざします。また、トキを環境に配慮したまちづくりのシンボルとし、持続可能な地域社会の形成に向けて取り組みます。

出雲市環境総合計画

トキが飛び交う 自然豊かなまち

森・里・川・海といった豊かで恵まれた自然を大きな財産とし、この自然の中でトキが雄大に飛び交う人と自然が共生するまちを目指します。



出雲市トキによるまちづくり構想

トキをシンボルとしたまちづくり



トキをシンボルとした環境にやさしい出雲市をめざし、持続可能な社会の形成に向けた取り組みを推進していきます。

2. 取組方針②

総合政策部内にプロジェクト推進室を設置

トキの野生復帰をめざす里地（A地域）に選定されされたことを受け、今年度から総合政策部内にプロジェクト推進室を設置し、強力に取組を推進していきます。

出雲市トキによるまちづくり庁内推進本部の設置

トキの放鳥に向けて、全市的な取組として、社会環境や生息環境の整備など、トキを活かしたまちづくりを進めていくため、令和5年7月に、市長を本部長とした「出雲市トキによるまちづくり庁内推進本部」を設置し、各部署横断的にスピード感を持って取り組める体制を構築しました。

トキによるまちづくり構想実施計画(アクションプラン2025)の策定

出雲市トキによるまちづくり構想の基本目標に基づき、具体的な施策を実施するため、アクションプラン2025を策定し、着実に取組を進めます。

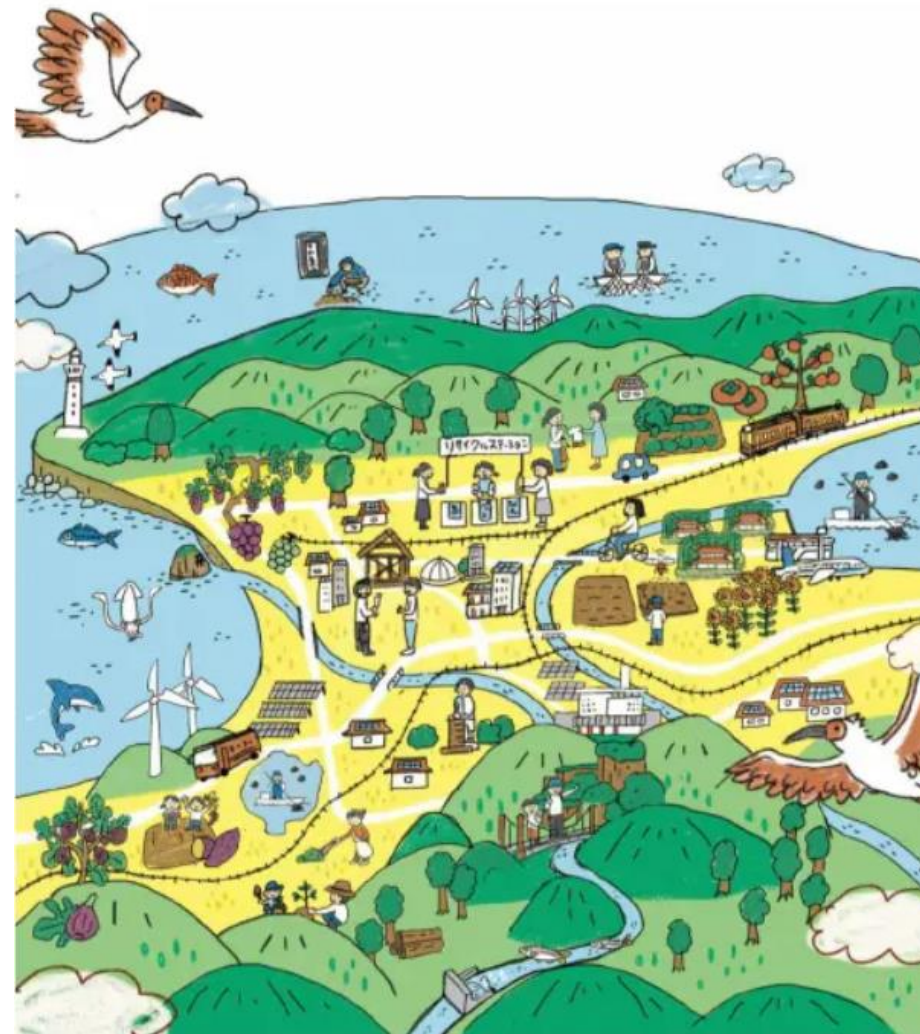
2. 取組方針③ 出雲市ロードマップ

項目		R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	
全体	トキによるまちづくり構想	★一部改定		★一部改定	国の放鳥要件・ロードマップ2030にあわせ対応					
	アクションプラン	★2025策定		★2030策定						
	トキによるまちづくり協議会	★組織体制の強化（委員構成の見直し・分科会の設置）								
	トキ野生復帰アドバイザー	★アドバイザー設置								
	関係者との連携	島根県・近隣自治体・佐渡市・石川県・環境省等との連携								
社会環境	普及啓発	市民・県民意識の醸成に関する取組、賛同者（ステークホルダー）の拡大								
		★トキ色指定・トキ色を活用した各種事業展開								
生息環境	生息環境指針	佐渡市の取組内容整理・生息環境整備方針の検討・策定								
	生息適地候補調査	★実地調査	★モデル地区の選定・モデル事業の実施、餌場の確保に向けた事業、休耕地等の活用							
	環境にやさしい農業	★研究会設置、環境保全型農業・有機農業の促進								
地域活性化	商品開発・観光誘客	農作物の高付加価値化、トキを活用した商品開発・観光メニュー等の検討・実施								

3. 取組を通じて目指す地域の姿

環境と経済の好循環が図られた持続可能なまち

出雲市では、総合振興計画「出雲新話 2030」において、トキをシンボルとし、環境に配慮したまちづくりに取り組むこととしており、この豊かで恵まれた自然の中でトキが雄大に飛び交う、人と自然が共生するまちを目指しています。トキが飛び交うまちは、自然が豊かで環境にやさしく人が住みやすい、環境と経済の好循環が図られた持続可能なまちといえます。



4. 取組内容 生息環境①

トキ生息適地候補調査

令和4年度調査

地形、植生等の環境基礎資料を基に、トキの生息に好適な採餌環境、営巣環境等の潜在性の高い5エリアを選定

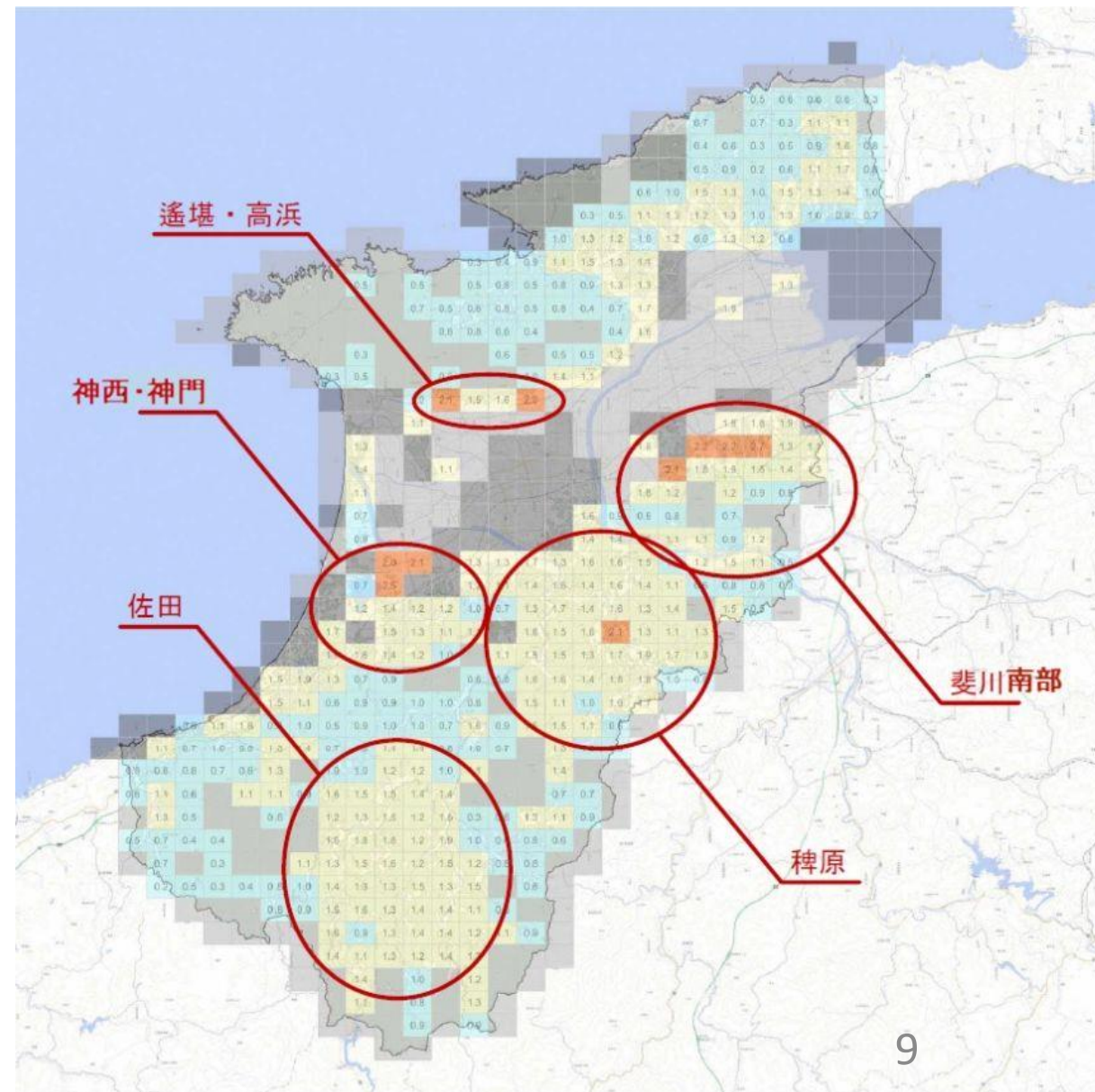
■実施方法

- ・評価対象を1kmメッシュで設定
- ・環境要因を採餌環境及び営巣、ねぐら等に設定（水田・河川・水路・森林・林縁部）
- ・選定除外（市街地の面積割合30%の地点、風力発電施設地点、採餌環境又は営巣環境のいずれかのスコアがゼロである地点）

令和5年度調査

5エリアの現地調査を行い、適性をより正確に把握

- ①森林の実態調査：大径木の有無、餌場との距離、森林の荒廃状況等の目視確認
- ②餌場の観察調査：水路形態（土水路・コンクリート水路等の構造、取排水様式等）、エサとなる生物の目視確認
- ③農業者への意識調査



4. 取組内容 生息環境②

出雲市トキ野生復帰アドバイザーの設置

トキ生息環境整備基本方針の策定など、今後どのような取組を進めるべきかアドバイスをいただくため、出雲市トキ野生復帰アドバイザーとして4人の方に就任いただきました。

氏名	役職名	氏名	役職名
関 健志	(公財) 日本生態系協会 専務理事	蘇 雲山	環境文化創造研究所 主任研究員
小宮輝之	元東京都恩賜上野動物園 園長	関島恒夫	新潟大学農学部農学科 教授

トキの生息環境に資する水田管理の検討

環境にやさしい農業研究会を設立し、国の「みどりの食料システム戦略」の趣旨を踏まえ、持続可能な農業のカタチを検討する中で、トキの放鳥に向け餌場確保につながる水田管理体系の検討を行うため、実証試験（令和6・7年産）を行います。

◎雨水たんぼ（12月から3月） ◎早期湛水（4月から5月） ◎江の設置

稗原地区における食物資源量調査

トキ生息適地候補5エリアのうち稗原地区において、10月末に水生動物調査・植生調査を実施します。

4. 取組内容 社会環境①

【活用状況の例示】

市のイメージカラーに「トキ色」を指定

この度、トキの美しい羽根の色を市のイメージカラーに指定しました。

「トキ色」を通じてトキへの関心と理解を高め、トキが飛び交うまちは、自然が豊かで様々な生物が共生し、環境にやさしく、人が住みやすいまちであることを発信します。

R251
G139
B91

R247
G222
B212

R252
G178
B174

※活用にあたっては、なぜトキ色を活用しているのか、説明文を記載しています。

ロッカーハウスの壁面（1月開設予定）



食品ロス関係ポスター・ポップ等



4. 取組内容 社会環境②・地域活性化

トキブランディング戦略分科会の設置

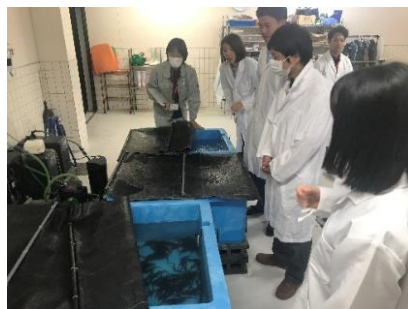
民間企業や若者などを中心としたメンバーで、市内外への情報発信のあり方や産業、観光面へのブランディングを検討するとともに、実際にプレイヤーとしても取り組んでいく予定です。

賛同者(ステークホルダー)の拡大

多くの民間団体や民間企業に賛同いただくことが必要と考え、地元企業と連携し普及啓発を進めています。現在、こうした支援企業を対外的にPRする仕組みについても検討しているところです。

出雲村田製作所・島根島津・島根富士通 3社共同事業

従業員及び家族向け普及啓発活動（POP等の展示・分散飼育施設バックヤード体験）



ワルツ商事

新車のゴミ収集車にトキをラッピング

